

芝浦工業大学校友会岡山支部規約

第1章 総 則

- 第1条 本支部は、芝浦工業大学校友会岡山支部(以下支部)と称す。
- 第2条 本支部の事務局を岡山県内に置く。
- 第3条 本支部は会員相互の親睦をはかり、芝浦工業大学校友会並びに芝浦工業大学の発展に寄与することを目的とする。

第2章 会 員

- 第4条 支部会員は、岡山県内に居住もしくは勤務し、芝浦工業大学校友会会則に依る芝浦工業大学校友会会員を以って組織する。
- 第5条 支部会員より会費を徴収することができる。

第3章 事 業

- 第6条 本支部は次の事業を行う。
- (1) 校友会本部との連絡
 - (2) 支部会員名簿の発行
 - (3) 支部総会の開催
 - (4) その他支部の目的を達成するに必要な事業

第4章 役 員

- 第7条 本支部に次の役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	若干名
幹 事	若干名
会 計	2 名以内
監 査	2 名以内
支部選出幹事	1 名

- 第8条 役員の選出は支部総会の決議による。
- 第9条 役員の任期は全て2ヵ年とする。但し再選は防げない。
- 第10条 本支部に総会の議を経て顧問若干名をおくことができる。
- 第11条 役員に欠員を生じた場合、補充役員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第12条 役員が辞任する時は幹事会の承認を必要とする。
- 第13条 任期満了といえども後任者が就任するまではその職務を行わなければならない。
- 第14条 支部長は支部を代表し、これを統括する。
- 第15条 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第16条 正副支部長は支部規約に規定する重要事項及び支部運営上必要な企画、立案

の事項を審議する。

第17条 支部幹事は次の事項を審議決定する。

- (1) 事業報告及び収支決算
- (2) 事業計画及び収支予算
- (3) 支部規約の制定及び改廃
- (4) 支部規約による役員の選出
- (5) その他必要と認めた事項

第18条 支部会計は支部内の会計に当たり、監査は会計を監査する。また監査は他の役員と兼任することが出来ない。

第19条 支部選出幹事は、校友会本部との連絡等に当たる。

第5章 会 議

第20条 支部の会議は総会、正副支部長及び支部幹事会の3種とする。

第21条 総会は定期総会、臨時総会とし定期総会は毎年1回開催し、臨時総会は支部長が必要と認めた時、幹事会の議を以て召集される。

第22条 総会の招集は総会期日の7日前までに会員に周知させる方法により行う。

第23条 総会においては幹事会の事項を報告し、議決を求めるとともに会員相互の親睦をはかる。

第24条 正副支部長会は支部長が必要と認めた時これを招集する。

第25条 幹事会は毎年1回以上支部長が招集する。但し幹事の過半数が、会議の目的たる事項を示し幹事会召集を請求した場合、支部長はただちにこれを招集しなければならない。

第26条 会議は出席者の過半数を以て決し、賛否同数の場合は議長がコレを決する。

第27条 正副支部長会は支部長及び^{副支}部長を以て構成し、幹事会は顧問、支部長、副支部長、幹事、支部長選出幹事、会計及び監査を以て組織する。

第6章 会 計

第28条 支部の会計は支部会費、本部補助金、寄付金及びその他の収入を以てこれに当たる。

第29条 支部会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日までとする。

第30条 支部予算は毎会計年度の始めに幹事会の議に付し、決算は毎会計年度の終了後、監査の意見を付して総会に報告しなければならない。

第7章 その他

第31条 会員にして支部及び母校の名誉を毀損する行為若しくは支部の秩序を乱す行為がある時はこれを除名することが出来る。

第32条 支部長は規約の実施について必要な場合、幹事会の議を経て別に細則及び内規を定めることが出来る。

付 則

この規約は、平成 21 年 5 月 10 日より施行する。